

事務事業評価票[市単独補助金]

平成 26 年度

		担当課		農林水産課		
基本事項	補助金(事業)名	島原市農業振興協議会補助金			整理番号	1404
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱		実施を義務付ける規定		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる 節 第1節 農林業の振興	予算科目	6款 1項 3目	●継続	○新規
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原市農業振興協議会			実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 18 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	消費者の多様なニーズに的確かつ主体的に対応できる産地並びに農業団体を育成するとともに、農業団体相互の連絡協調を図り、本市農業の振興と発展に寄与することを目的として、次に業務を行う。 (1) 農業団体を育成するための事業(研修助成) (2) 農業振興のための事業(農業感謝祭の実施) (3) その他、目的を達成するための必要な事業				
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	本市農業の振興と発展に寄与させるために、消費者の多様なニーズに的確かつ主体的に対応できる産地並びに農業団体を育成するとともに、農業団体相互の連絡協調を図る。				
事業費等の推移	補助金交付内容等 (積算基礎等)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体(会員)が実施する研修に対する助成 2,600,000円 ・農業感謝祭の実施 500,000円 ・会議費等 300,000円 				
	年度区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 予算額
補助金交付額(千円)	3,342	2,894	3,012	3,325	3,400	
① 団体等事業費(千円)	3,404	2,955	3,086	3,393		
② 岁入内訳 (千円)	会費等 前年度繰越金 市補助金 その他の助成金 その他雑収入	62 0 3,342 0 0	61 0 2,894 0 0	74 0 3,012 0 0	68 0 3,325 0 0	
次年度繰越金 (②-①)	0	0	0	0	0	
25年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載)(単位:円)						
項目		金額	項目		金額	
団体育成費		2,020,000				
事業費		956,697				
会議費		268,990				
事務費		147,221				
補助金の使途についての特記事項等						

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析

視 点	現 状 分 析	説 明
① 助成事業の効果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	栽培技術の向上や市場対応の強化、市内生産者相互の情報交換並びに親睦交流が図られ、地域農業の活性化につながっている。
② 市の関与の必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	本市農業の振興を図るためには、産地並びに農業団体の育成、農業団体相互の連携強調が重要であり、その役割を果たしている協議会を今後とも支援していく必要がある。
③ 団体の事業内容や助成の在り方等の見直し必要性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	農業者の技術向上や消費者ニーズに対し的確に対応できる産地を確立するためにも、生産者(団体)相互が情報交換ができる機会を確保するとともに研修等に対する支援は今後とも必要である。

○総合評価と今後の方向性

総 合 評 価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
		農業者のニーズが大きく、本市担い手農家の生産技術や経営能力向上のため継続して実施することが必要である。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1~B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備 考	成果指標が「農業振興と発展に寄与」と抽象的な設定となっており、終期を設定して、効果検証をすべきである。また会費の設定額及び農業感謝祭への支出については、改善の必要が求められる。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評 価 結 果 を 踏 ま え た 次 年 度 予 算 へ の 反 映 状 況 (□)				
<input checked="" type="checkbox"/> 補助額の削減	<input type="checkbox"/> 補助額の増加	<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	⇒ 予算措置額の増減 △ 340 千円
備 考				

(島原市農業振興協議会補助金)